

専門職学位課程カリキュラム・フレームワーク [P-Cuffet]

共通／選択	専門職学位課程カリキュラム・フレームワーク [P-Cuffet]
<p>コア・スタンダード (共通)</p>	<p>1. 現代社会と学校教育等との関連 現代社会や学校教育、保育、及びそれらの関連について幅広く高度な知識を習得し、それらを生かして、持続可能な社会の担い手を育むための教育・保育活動を具体的に構想し、実践することができる。</p> <p>2. 教材、領域の内容・特性 教科等や領域の内容・特性に関する専門的で高度な知識・技能を習得し、それらを生かして教材研究や教材開発をすることができる。</p> <p>3. ICT の活用 ICT の活用に関する高度な知識・技能を習得し、それらを生かして自身の教育実践や組織の教育・保育活動を工夫・改善することができる。</p> <p>4. 授業等の実践 【計画】 教育・保育に関わる高度な知識や研究成果をもとに、自身の授業等や組織の教育・保育計画を作成することができるとともに、同僚等を支援することができる。 【実施】 作成した計画に基づき、授業等、教育・保育活動を適切に実施することができるとともに、同僚等を支援することができる。 【評価・改善】 実施した授業等、教育・保育活動の結果を自ら評価し改善につなげることができるとともに、同僚等を支援することができる。</p> <p>5. 子ども理解 多様な背景をもつ子どもの成長・発達・学習に関する高度な知識を習得し、子どもを理解することを基盤として、教育・保育活動を具体的に構想し実践することができる。</p> <p>6. 学校マネジメント・関係者支援 学校・園関係者(保護者・地域住民・同僚教員・管理職等)を含む多様な人々と適切に連携・協働し、地域や社会に対して開かれた学校・園づくりを進めることの意義と方法を理解した上で、具体的な取組に結びつけることができる。</p> <p>7. 研究 自ら定めた課題を追究し、論文やポートフォリオ等にまとめるとともに、研究のプロセスで身に付けた学びや得られた成果を実践や教材開発等に生かすことができる。</p> <p>8. 教職キャリア形成 教職に関する知識にもとづいて、自らのキャリアステージにふさわしい教員像や修了後のキャリア形成をイメージすることができるとともに、教育・保育をめぐる課題の探究および解決を目指して教員として学び続けることのできる資質・能力を身に付けている。</p>
<p>プロフェッショナル・スタンダード (選択)</p>	<p>(学生は入学当初に、自らのキャリアステージと研究テーマに応じて下記の中から一つ以上を決定し、担当教員と相談の上、在学期間における達成目標を確認することのできる到達基準を作成する。)</p> <p>(ストレート院生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級経営、ESD(持続可能な開発のための教育)、ICTに関わる高度な実践力を身に付けている。 ・ 生徒指導、学校カウンセリング、幼年教育、インクルーシブ教育に関わる高度な実践力を身に付けている。 ・ 教科等指導に関わる高度な実践力を身に付けている。 <p>(現職教員等院生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級経営、ESD(持続可能な開発のための教育)、ICTについて学校・園全体を牽引し、学校・園や地域、教育行政において指導的役割を果たすことのできる高度な実践力を身に付けている。 ・ 生徒指導、学校カウンセリング、幼年教育、インクルーシブ教育について学校・園全体を牽引し、学校・園や地域、教育行政において指導的役割を果たすことのできる高度な実践力を身に付けている。 ・ 教科等研究を推進し、学校・園や地域、教育行政において指導的役割を果たすことのできる高度な実践力を身に付けている。